

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：感染症予防費

事業名 地域外来・検査センター運営事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部感染症対策推進課 検査対策係 電話番号：058-272-1111(内3348)

E-mail：c11237@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 172,934 千円 (前年度予算額： 191,456 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	191,456	104,485	0	0	0	0	0	0	86,971
要求額	172,934	94,108	0	0	0	0	0	0	78,826
決定額	172,934	94,108	0	0	0	0	0	0	78,826

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

・新型コロナウイルス感染症の来年度の検査体制は、抗原定性検査キットによる自己検査、または、診療・検査医療機関に指定された最寄りの病院や診療所等で検査を引き続き行う見込みである。

・自院で検体採取ができない医院においては、従来通り、検体採取及び検査を行うために地域外来・検査センターを活用する必要があることから、医師から検査が必要と判断された者について確実に検査を行えるよう、引き続き地域外来・検査センターの運営を医師会等に委託し、運営する必要がある。

(2) 事業内容

・地域の実情に精通している各地域医師会等が運営する地域外来・検査センターを継続運営し、PCR検査等を必要とする患者に適切な検査を実施することで、さらに検査体制を増強する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国 1/2、県 1/2 (運営費)

国 10/10 (設置費)

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	63	業務旅費
需用費	12	事務用品代
役務費	12	通信運搬費
委託料	172,847	センター設置・運営経費 (医師人件費等)
合計	172,934	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

- ・新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処策方針 (R4.9.8)
- ・「新型コロナウイルス感染症」の検査体制整備に関する指針 (R3.10.1)

(2) 後年度の財政負担

新型コロナウイルス感染症の発生状況、治療薬開発及びワクチン接種状況等により判断される。

(3) 事業主体及びその妥当性

新型コロナウイルス検査の各地域医師会等への運営委託は、国からさらなる検査体制確立のために要請されているところであり、まん延期の検査体制及び重症者に対する医療提供の確保の観点から必要不可欠なものである。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

新型コロナウイルス感染症対策としての検査体制確保のため、継続して検査業務を委託する必要がある。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予測することができず、その都度必要な対策を柔軟かつ迅速に実施する必要があるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	8カ所の地域外来・検査センターの設置・運営を医師会等に委託し、新型コロナウイルス感染症の検査を実施した。 年間で、合計6,518件の検査を実施しており、新型コロナウイルス感染症の迅速な診断を行うことができた。
令和3年度	7カ所の地域外来・検査センターの設置・運営を医師会等に委託し、新型コロナウイルス感染症の検査を実施した。 年間で、合計8,932件の検査を実施しており、新型コロナウイルス感染症の迅速な診断を行うことができた。
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 2	第8波以降の流行の可能性が否定できない状況であり、感染拡大に備えて引き続き検査体制を維持する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	8月末時点で、通算6,790件の検査を行っており、地域の医療機関の検査体制を補完する役割を果たしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 1	流行状況や地域の検査体制の変動に伴い、開設日数を調整するなど機動的に運用を行っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予測することができず、その都度必要な対策を柔軟かつ迅速に実施する必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県内の感染状況や国の対策など、刻一刻と変化する情勢を的確に分析し、必要な対策を柔軟かつ迅速に実施していく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】